

我が家の記録

第22回
歴博映画の会

2014年
10月4日(土)
13:30~15:30

場所 国立歴史民俗博物館講堂

●**入場無料・申込不要**
(260名・当日先着順)

主催:国立歴史民俗博物館
協力:国立歴史民俗博物館友の会



我が家の記録

国立歴史民俗博物館には、制作及び収集してきた民俗と歴史の記録映画があります。これらの映像を通じて民俗と歴史への知識と理解を深めていただくとともに、歴博の研究活動を広く皆様に知っていただきたいと思ます。教員による作品解説も行います。皆様お誘いあわせの上、おいで下さい。



宮本馨太郎撮影

上映作品

「我が家の記録

昭和十四年/昭和十五年」

(宮本馨太郎制作、各7分、宮本記念財団所蔵)

「和良比裸祭」

(昭和59年、8分54秒、歴博友の会会員制作)

「千葉ニュータウン中央駅の
開通前後」

(昭和59年、26分30秒、歴博友の会会員撮影)

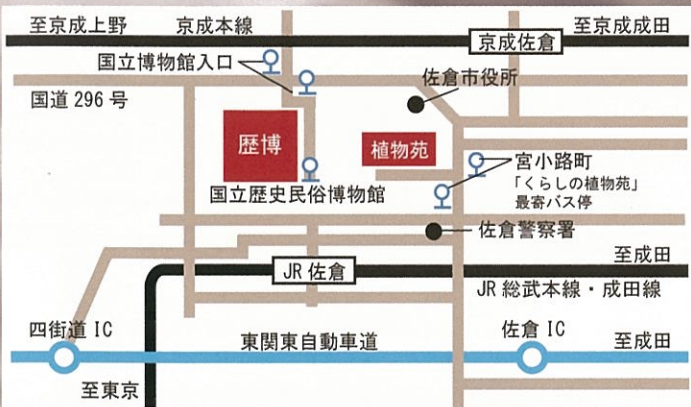
解説 内田順子

(国立歴史民俗博物館 研究部民俗研究系)

なにげなく撮影された家族や地域の映像は、時が経つと歴史や暮らしに関する記録資料としての価値が生まれてくることもある。日本の民俗誌映画の先駆者として知られる宮本馨太郎が撮影・制作した家族についての映画「我が家の記録」は、子供の誕生日や宮参り、自宅の庭で遊ぶようすなどが記録されている。これらは昭和10年代の暮らしの記録として貴重なものとなっている。「和良比裸祭」「千葉ニュータウン中央駅の開通前後」は歴博友の会の会員から提供していただいた映像で、撮影から30年を経過している。地域の祭りや町のような移り変わりを比較するために、現在のようすとあわせて上映する。これらの映像の上映を通して、身近な対象を撮影した映像の意味や価値を考えたい。



岩田信一郎撮影



国立歴史民俗博物館講堂

(千葉県佐倉市・京成佐倉駅から徒歩15分)

申込不要・入場無料

(当日先着順260名)

- 【京成電鉄利用の場合】京成上野駅から京成佐倉駅(京成本線經由特急利用の場合55分)下車、バス約5分(一部直通バスあり)または徒歩15分
- 【JR線利用の場合】東京駅から総武本線佐倉駅(快速利用の場合約60分)下車、バス約15分(一部直通バスあり)
- 【自動車利用の場合】東関東自動車道、四街道I.C.、または佐倉I.C. から約15分(無料大駐車場完備)

お問い合わせ

国立歴史民俗博物館友の会 電話043-486-8011 E-mail tomonokai@rekishin.or.jp
国立歴史民俗博物館広報・普及係 電話043-486-0123(代) E-mail sfukyu@ml.rekihaku.ac.jp